

実力医の 履歴書

外科系Ⅲ

**脳神経外科の病気
頭頸部・口腔の癌
甲状腺癌**

編集 中村 康生
(セカンド・オピニオンを推進させる会)

セカンド・オピニオン

手術を受けるならこの先生!!

〈脳神経外科疾患、頭頸部癌・口腔癌・甲状腺癌〉

実力医431人の累積手術数

年間手術数・治療成績を公開!

実力医の素顔を紹介 《経歴・所属学会・資格など》

ライフ企画

定価: 本体2,800円 + 税



有田 和徳

あり た かず のり

鹿児島大学病院 脳神経外科教授(脳腫瘍)
鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1 ☎ 099-275-5828(外来)

累積手術数(個人) 総計約1,500件。その内訳は、脳腫瘍約800件、脳血管障害約200件、てんかん70件、神経血管減圧手術90件。

年間手術数(個人) 脳腫瘍約80件。内訳は間脳下垂体腫瘍50件。その他、頭蓋咽頭腫、松果体部腫瘍、聴神経腫瘍、髄膜腫など。脳血管障害10件。てんかん8件、三叉神経痛や顔面けいれんなどの神経血管減圧手術10件。

科の特色 特に専門としているのは脳腫瘍(下垂体腺腫、グリオーマ、聴神経腫瘍、髄膜腫、神経膠腫、眼窩腫瘍)で年間155件を手術している。鍵穴(キーホール)手術、内視鏡下手術、脳血管内手術など患者さんに負担の少ない最新治療法を導入している。その他、脳動脈瘤、機能脳神経外科(てんかん、三叉神経痛、顔面けいれん)、小児脳神経外科(モヤモヤ病など)、定位放射線治療(サイバーナイフやガンマナイフ)を得意とする。希望される患者さんには術中ビデオ(DVD)を差し上げている。

科の症例数・治療・成績 06年の手術件数は280件。07年の手術件数はさらに増加するものと予想される。06年の手術内訳は脳腫瘍155件、脳動脈瘤17件、頸部内頸動脈狭窄症に対するステント手術14件などが主なもの。手術では患者さんのQOLを重視し、ニューロナビゲーション下手術、鍵穴手術、内視鏡下手術、脳血管内手術を駆使して、低侵襲治療を追求している★特に間脳下垂体部腫瘍では、大部分を経蝶形骨洞手術(経鼻手術)で行い、高い安全性と治癒率を報告している★グリオーマの治療では、FDG-PET、メチオニン-PETの所見を参考に、術中ナビゲーションを使用しながら腫瘍摘出度を高めている。手術後はテモダール、PAVなどの化学療法と放射線照射さらにサイバーナイフ治療を組み合わせ、腫瘍コントロール率の改善を得ている★三叉神経痛や顔面けいれんに対しては患者さんの負担の少ない鍵穴手術で、80%以上の根治を達成している★薬の効かない難治性てんかんでは、脳磁図やPET所見を参考にてんかん焦点決定を行い、焦点切除を行っている★血管内治療グループは病院内外で年間約90例の血管内手術を行っている。

外来診療 火・木・金。月・水は手術日で、原則として外来休診。お急ぎの場合は☎099-275-5375(脳外科医局)まで。救急は随時。

セカンド・オピニオンの受け方 申し込みは医務課地域医療連携係(☎099-275-5168)へ。

略歴 1952年鹿児島市生まれ。鹿児島県立鶴丸高校卒。81年広島大学医学部卒。94年3～5月、UCSF(カリフォルニア州、サンフランシスコ)に留学。95年5月広島大学脳外科学助教授。03年6～10月モントリオール神経研究所。03年11月～04年3月デューク大学(ノースカロライナ州)。05年10月鹿児島大学脳神経外科教授。

所属学会・資格 日本脳神経外科学会(専門医)、日本救急医学会(専門医)、日本てんかん学会(専門医)、日本脳卒中学会(専門医)、日本リハビリテーション医学会(認定臨床医)、日本間脳下垂体腫瘍学会(理事)、日本内分泌学会(代議員)、米国脳神経外科学会会員、米国CNS学会。

著書・編集書・論文 「プロラクチノーマ」「非機能性下垂体腺腫」「先端巨大症」その他著書22編

他、原著論文、総説論文、症例報告合わせて約400編(共著を含む)。

手術に際して心がけている点 平常心。自分の家族であればどうするか。

診療中に心がけている点 患者様第一。医療はサービス業であること。

名医の条件 患者様から学ぶことができる医者。

趣味 ジョギング、バードウォッチ、映画。

特技 ギョウザ作りには自信があり。英会話は苦手だがボキャブラリーには興味があり、TOEIC 840点。

私の健康法 長風呂(鹿児島はどこでも温泉)。定年になったらアジアで脳外科手術の現地指導をしようと思っているので、ジョギングなどで体力維持を行っている。

もし医師でなかったら… 理科の先生か。



累積手術数(個人) 脳血管内手術総数約 350 件。内訳は、ステント留置術 120 件、脳動脈瘤 80 件、硬膜動静脈瘤 50 件など。脳神経外科手術総数約 350 件、脳血管障害約 200 件、その他脳腫瘍など。

年間手術数(個人) 脳血管内手術約 90 例。内訳はステント留置術 40 件、動脈瘤コイル塞栓術 20 件、その他、硬膜動静脈瘤、脳動静脈奇形など。脳血管障害の開頭手術 10 数例。

科の特色 大学病院の特性として紹介患者さんが多く、患者さんに負担の少ない脳血管内手術・内視鏡下手術などの低侵襲手術もその適応を十分に考慮し、積極的に導入している。その他、脳動脈瘤、機能脳神経外科(てんかん、三叉神経痛、顔面けいれん)、小児脳神経外科(モヤモヤ病、狭頭症)、定位放射線治療(サイバーナイフやガンマナイフ)を得意とする。希望される患者さんには術中ビデオ(DVD)を差し上げている。

科の症例数・治療・成績 大学病院の 06 年の手術件数は 280 件であった。手術の内訳は、脳腫瘍 155 件、脳動脈瘤(クリッピング術)17 件、脳血管内手術 35 件等である★特に脳血管内手術症例は、当院の治療枠数および急性期症例や僻地などの地理的事情での搬送困難等の理由で、年間手術数 80～100 例のうち半数強は関連病院に出張し施行している★脳梗塞の原因のひとつである頸部動脈狭窄症の治療は、血管内手術であるステント留置術を第一選択としているが、原則的に局所麻酔下で施行している。これにより全身合併症の多い患者さんも比較的安全に治療することが可能となったが、当科ではこれまで同疾患を 100 例以上治療しており、いずれも良好な結果を得ている★脳動脈瘤の治療に関しては、患者さんの状態、瘤の場所・形状等を考慮し、脳血管内手術(コイル塞栓術)にこだわらず、開頭クリッピング術のいずれを選択するかを慎重に検討し、決定している。

外来診療 火・木・金。永山=火・木(血管内手術を火・木の午後に施行している関係上、外来診療は基本的に午前中が中心となっている)。

セカンド・オピニオンの受け方 資料と診療情報提供書を用意し、当病院の医務課地域医療連携係(☎ 099-275-5168)に申し込む。料金は 1 時間で 15,750 円、以降 30 分ごとに 5,250 円(保険対象外)。

略歴 1964 年宮崎県宮崎市生まれ。宮崎県立都城泉ヶ丘高校卒。89 年鹿児島大学医学部卒。93 年 3 月同大学院修了、学位取得(鹿児島大学医学博士)。96 年 8 月～99 年 8 月ピッツバーグ大学 neurology(ペンシルベニア州)に留学。01 年 4 月～07 年 3 月鹿児島大学脳神経外科助手。07 年 4 月～現職。

所属学会・資格 日本脳神経外科学会(専門医)、日本脳卒中学会(専門医)、日本脳神経血管内治療学会(専門医)、日本脳神経外科コンgres学会会員、米国 Society for Neuroscience 会員。

著書・編集書・論文 脳虚血およびアポトーシスなど原著論文、症例報告あわせて約 40 編(共著を含む)。

手術に際して心がけている点 冷静沈着。血管内治

療に関しては深追いしない、引き際は肝心。

診療中に心がけている点 いつも笑顔で。患者さんに十分理解していただけるよう、分かりやすく説明する。

名医の条件 手術開始から終了まで手技が一貫していること。

趣味 マリンスポーツ(最近ほとんどやっていない)、オコクワガタ飼育。

特技 電化製品に詳しい。巷では「家電王」と呼ばれている。

私の健康法 ストレスをためないこと。

もし医師でなかったら… 小学校の先生。家電量販店のカリスマ店員。